



応援フォーラム

〈Webサイト〉

<https://jinbunchi.or.jp/>



「人文知」は、文化を愛で、芸術に親しみ、人文学を身につけることを通じ、自ずから人の心の中に生まれてくるしなやかで強靱な「知の力」です。それは、人生をより豊かにし、世界に通用する人材を育てる力の源泉になると同時に、社会の姿を整え、国の立ち位置を固め、ひいては、世界を和やかに保つためにも力を発揮します。さまざまな要素が複雑に絡み合い、社会の根底を支える価値観さえ揺るがされかねない今の世界に生きる日本では、そのような「人文知」を磨くことの意味と意義はこれまでになく高まっています。

そこで、私たちは、令和元年10月に「人文知応援フォーラム」を設立し、「人文知」について多くの方々と議論を重ね、意見を交換し、人文知応援大会などの事業を展開してまいりました。そして、令和3年4月には一般社団法人に衣替えし、新たなステージに入りました。

本フォーラムは、「人文知」を磨くことの重要性を深く心に刻み、これからの日本で文化、芸術、人文学の研究が一層進展し、文と理を超越した知の総体としての「人文知」が日本の社会の中で広く活かされるよう、多くの同志との連携を通し、「人文知応援大会」や「人文知探訪プログラム」、また例会等の開催を通じて、人文知の普及・発信活動を展開してまいります。

本フォーラムでは、趣旨にご賛同いただき、共に「人文知」を普及する活動にご協力いただける賛助会員を募集しております。本フォーラムの活動にご賛同いただける方のご参加を、心よりお待ちしております。



人文知応援フォーラム代表理事
公益財団法人 大原美術館 名誉館長

大原 謙一郎

倉敷レイオン(現㈱クレレ)に入社。同社副社長、その後㈱中国銀行副頭取歴任。1991年5月より2016年6月まで大原美術館理事長。その後名誉理事長を経て名誉館長。他に岡山経済同友会代表幹事、岡山県教育委員会教育委員、倉敷商工会議所会頭、岡山県文化連盟会長等歴任。また、倉敷芸術科学大学 客員教授として非営利事業経営論を講義。他に(公財)大原記念倉敷中央医療機構会長、(公財)倉敷民芸館理事長兼館長、(一社)日本アスペン研究所副理事長も務める。



人文知応援フォーラム代表理事
大会実行委員長・元文化庁長官

近藤 誠一

元文化庁長官。パリOECD(経済協力開発機構)事務次長、駐米大使館公使、ユネスコ日本政府代表部大使、駐デンマーク特命全権大使等を歴任。退任後、東京大学、慶應義塾大学、東京藝術大学等で教鞭を執った他、一般社団法人 TAKUMI Art du Japonの設立等文化・芸術の発展、国際交流に貢献。仏レジオン・ドヌール・シュバリエ章、瑞宝重光章を受章。国際ファッション専門職大学学長も務める。



大学共同利用機関法人

人間文化研究機構

〈Webサイト〉

<https://www.nihu.jp/ja>



人間文化研究機構(人文機構/NIHU)は、人間文化研究を推進する大学共同利用機関を支え、さらなる発展を図る法人として、2004年に設置されました。現在の構成機関は、国立歴史民俗博物館(歴博)、国文学研究資料館(国文研)、国立国語研究所(国語研)、国際日本文化研究センター(日文研)、総合地球環境学研究所(地球研)、国立民族学博物館(民博)です。これら6つの機関は、それぞれの研究分野における国際的な中核研究拠点として、国内外の大学等研究機関、研究者と連携して、基盤的研究及び学際的研究の推進を目的としています。人文機構は、機構内の機関や機構外の大学等をつなぎ、人間文化研究に関する唯一の大学共同利用機関法人として、研究資源の構築、実証的研究、理論的研究を進めるとともに、自然科学との連携も含めた新しい研究領域の創成を目指し、人間文化に関わる総合的学術研究・発信に取り組んでいます。

※大学共同利用機関とは

各研究分野における我が国の中核的研究拠点(COE)として、個別の大学では維持が困難な大規模な施設設備や膨大な資料・情報等を国内外の大学や研究機関等の研究者に提供し、それを通じて効果的な共同研究を実施する研究機関です。



人文知応援フォーラム理事
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構長

木部 暢子

方言学者。南九州をはじめとする日本各地の方言アクセント・音韻を研究するほか、方言の記録・保存にも取り組む。1998年「西南部九州方言アクセントの研究」で九州大学文学博士。1988年鹿児島大学法文学部助教授、1999年同教授、2006年同学部長、2010年より人間文化研究機構 国立国語研究所教授・副所長。2021年国立国語研究所名誉教授・特任教授。2022年より人間文化研究機構機構長。著書に『西南部九州二型アクセントの研究』勉誠出版 2000、『そだったんだ日本語 ジャっで方言なおもしろか』岩波書店 2013、『シリーズ日本語史1 音韻史』(共著)岩波書店 2016、『明解方言学辞典』(編著者)三省堂 2019など。



第3回 人文知応援大会

レジリエントな未来に向けて

～人類の進化と歴史から学ぶ～

2023年 2/25(土) 13:30～17:00

会場 | 一橋講堂・オンライン

主催 | 一般社団法人 人文知応援フォーラム
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

大会趣旨

人類はいま温暖化、ロシアによるウクライナ侵攻に端を発した国際関係の揺らぎ、感染症の蔓延などの深刻な問題に直面しています。

しかしこれらの複雑で相互に絡み合った課題に対し、その場しのぎの措置で辛うじて最悪の事態を避けているだけで、明るい先の見通しが立てられていません。

このような時こそ、我々は、過去から積み上げて来た「人文知」、とりわけ人類が進化の過程で直面した危機にどのように対応し、成功し、失敗したかに関する知を学び直すことで、明るい未来をつくるのに必要なレジリエンスについて論ずることができるのではないのでしょうか。

それは何であるか、人類が今後文明を運営していく上でどこに重点をおくべきかについて、さまざまな角度から論ずることが本大会の目的です。

第3回 人文知応援大会実行委員長 近藤 誠一
(人文知応援フォーラム代表理事・元文化庁長官)



人文知応援フォーラム



大学共同利用機関法人
人間文化研究機構

レジリエントな 未来に向けて

～人類の進化と歴史から学ぶ～

大会プログラム

総合司会：草野 満代（フリーアナウンサー、人文知応援フォーラム理事）

13:30	開 会 挨 拶	大原謙一郎（人文知応援フォーラム代表理事） 木部 暢子（人間文化研究機構機構長）
13:40～14:25	基 調 講 演	「人類はどこで間違えたのか？～進化と歴史から学ぶ～」 山極 壽一（総合地球環境学研究所 所長）
14:25～14:50	休憩	
14:50～16:50	パネル討論	「レジリエントな未来に向けて ～人類の進化と歴史から学ぶ～」 〈コーディネーター〉渡辺美代子（日本大学常務理事、特定非営利活動法人ウッドデッキ代表理事） 〈パネリスト〉伊藤 公平（慶應義塾長） 河瀬 直美（映画作家） 中島さち子（音楽家、数学研究者、STEAM教育者） 山極 壽一（総合地球環境学研究所 所長）
16:50～17:00	閉 会 挨 拶 大会宣言採択	近藤 誠一（人文知応援フォーラム代表理事）

基 調 講 演



総合地球環境学研究所 所長

山極 壽一

1952年東京都生まれ。京都大学理学部卒、同大学院理学研究科博士後期課程単位取得退学。理学博士。日本モンキーセンター研究員、京都大学霊長類研究所助手、同大学院理学研究科教授、理学研究科長、理学部長、京都大学総長を経て現在に至る。国際霊長類学会会長、国立大学協会会長、日本学術会議会長を歴任。

総 合 司 会



フリーアナウンサー

草野 満代

1989年から1997年までNHKでアナウンサーとして活躍。「NHKモーニングワイド」、「NHKサンデースポーツ・サタデースポーツ」、「紅白歌合戦」などを担当。NHK以外では、TBS「筑紫哲也 NEWS23」、TBS「第39回輝く日本レコード大賞」などのキャスター・司会を務めた。現在は、ニッポン放送「健康あるあるワンダフォー」などで活躍している。環境省地球いきもの応援団、総務省年金業務監視委員会、国土交通省社会資本整備審議会委員、公益財団法人日本スポーツ協会副会長なども務める。

コ ー デ ィ ネ ー タ ー



日本大学 常務理事
特定非営利活動法人ウッドデッキ 代表理事

渡辺 美代子

東芝総合研究所にて半導体研究開発を担当、理学博士。カナダダルハウジー大学ポストドク、東芝研究開発センター技術管理部門長、科学技術振興機構副理事を経て、2022年10月より現職。この他、内閣府STEM Girls Ambassador、日本学術会議第24期副会長。

パネリスト



慶應義塾長

伊藤 公平

1965年生まれ。1989年慶應義塾大学理工学部計測工学科卒業。1994年カリフォルニア大学バークレー校工学部 Ph.D取得。助手、専任講師、助教授を経て2007年慶應義塾大学理工学部教授。2017年～ 2019年同理工学部長・理工学研究科委員長。日本学術会議会員。2021年5月慶應義塾長に就任。専門は固体物理、量子コンピュータ等。



映画作家

河瀬 直美

故郷奈良を拠点に映画を創り続ける。一貫したリアリティの追求による作品創りは、国内外で高い評価を受ける。最新作は2022年6月に公開された「東京2020オリンピックSIDE A/SIDE B」2025年大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー（シニアアドバイザー兼務）、ユネスコ親善大使を務める。



音楽家・数学研究者・STEAM教育者

中島 さち子

（株）steAm 代表取締役、（一社）steAmBAND代表理事、大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー、内閣府STEM Girls Ambassador、東京大学大学院数理科学研究科特任研究員。国際数学オリンピック金メダリスト。音楽数学教育と共にアート&テクノロジーの研究も進める。